

公募研究 A01 (課題番号: 07205201・08205201・09202201)

江戸幕府および大名の琉球認識についての研究

研究代表者: 山本博文・東京大学・史料編纂所・助教授

1. 研究項目: A01 琉球・沖縄の政治と社会

2. 研究課題名: 江戸幕府および大名の琉球認識についての研究
(課題番号: 07205201・08205201・09202201)

3. 研究期間: 平成7～9年度(課題番号:)

4. 交付研究費: 平成7年度 1,000千円
平成8年度 1,400千円
平成9年度 700千円 合計3,100千円

5. 研究組織(氏名・所属機関・部局・職):
研究代表者 山本博文 東京大学史料編纂所・助教授

6. 研究経過

平成7・8・9年度において、主に九州地方の史料所蔵機関に赴き、琉球関係史料の調査を行った。主な機関は、鹿児島大学付属図書館、鹿児島県歴史資料センター黎明館、尚古集成館、熊本大学附属図書館、長崎県平戸市松浦史料博物館、長崎県島原市公民館などである。

7. 研究論文等研究業績一覧

「島津家文書の全体像について」(『重点領域研究「沖縄の歴史情報」総括班・沖縄3研究班合同研究会報告集』p.38～p.43)

「島津家文書(黒漆塗箱分)解題」(『島津家文書目録(黒漆塗箱分)』東京大学史料編纂所刊行、p.1～p.8)

『島津義弘の賭け』(読売新聞社、1997年8月20日、294p)

8. これまでの収集史料一覧

尚古集成館: 薩摩藩の正保国絵図関係史料

鹿児島大学附属図書館「玉里文庫」: 琉球人行粧図、琉球人往来筋脈図

個人蔵（鹿児島県歴史資料センター黎明館寄託）：大迫文書

9．作成データベース等情報化資料の概要

東京大学史料編纂所所蔵島津家文書の島津家本に収載される「琉球関係文書」全18冊のテキストデータを完成させ、山本博文個人のホームページで公開した。データ量は約1MB程度である。

同島津家文書に収載される琉球関係文書のリスト 黒漆塗箱分と それ以外の部分の二種類ある。

10．研究成果の概要

島津家文書中の琉球関係史料について

はじめに

島津家文書には、多くの琉球関係史料があるが、かならずしも十分には利用されてこなかった。これは、琉球関係史料が一括して入っているわけではないこと、および島津家文書の公開体制が調っていないためである。

本科研では、島津家文書中の琉球関係文書のリストを作成した。データは報告書のCD-ROM版で公開される筈であるが、今回その年代順リストを公表する。

一 琉球関係史料原本の概要

島津家文書の中で、琉球関係史料は、おおむね 白木箱、小箱六番箱、小箱白布包本、長持四番上・九番上、筆筭（大筆筭・小筆筭）に納められている。

白木箱は、一番箱から十三番箱まで、および四十五番箱があり、薩摩藩記録所に残された歴代藩主の関係史料である。おおむね年代順になっており、琉球国王書状、および琉球三司官起請文が残っている。なお、四十五番箱は、琉球関係史料が集中的に納められており、その内容は琉球国王と島津藩主の往復書状である。

小箱六番箱には、琉球国諸島高辻帳、および琉球使節参府関係史料が納められている。

小箱白包本は、境争論や天保国絵図関係史料が納められている部分であり、その関係で、琉球国変地改目録が納められている。

長持四番上および九番上は、白木箱と同じ性格の史料で、かつ白木箱よりも年代の古い史料が納められている。したがって、琉球関係史料も同様に納められているが、特に九番上には、宝永七年の琉球両使参府関係史料が納められている。

筆筭は、おおむね幕末期の史料が納められており、琉球関係史料も外国との関係を示す史料が納められている。

二 島津家本『琉球関係史料』について

山本博文の個人ホームページで公開している『琉球関係史料』全十八冊は、これにしかない史料が多数納められている。

粗目次

(1) 王子鹿児島城中において御膳進上の次第、琉球国清国へ進貢接貢の源由、琉球国征伐の概略、琉球国産物他国売買を禁ず

- (2)琉球人御礼の次第、中山王献上物、琉官名上申書、琉球人来朝の際流行
- (3)日本往来の始、琉球人来聘、明和元年琉球人来朝、登城行列の次第、登城の式、御暇の次第、献上物の品々、文化三年十一月琉球国中山王賀慶使人名
- (4)薩摩・琉球関係史(慶長十四年から正徳三年)
- (5)使琉球雜録序
- (6)琉球国名及び石高、島津家琉球国所領巡検使応答、琉球教条、琉球法度、琉球館聞役、琉球在番奉行及び各島代官等俸禄
- (7)沖繩志抄
- (8)島津家琉球国所領の来由、中山世系、進貢
- (9)沖繩志抄
- (10)沖繩志抄
- (11)首里城より諸所里程、那覇港より諸所里程、政府官員、間切官員、位階、秩録
- (12)異朝往来書式、異邦の天子外国王日本国王と往来書式、外国往来書式、大君の御号を留めらる、復号の御事、外国通信事略、琉球事略
- (13)琉球国要書鈔
- (14)戯文和解、琉踊
- (15)琉球国清国へ進貢接貢の源由、琉球国征伐の概略、琉球国産物他国売買を禁ず、琉球在番奉行覚悟の条々、琉球石高に課する出米其他物品代米
- (16)琉球貢納古今引例、琉球史鈔、王子鹿児島城中において御膳進上の次第
- (17)琉球人参府に関する文書(天保三年)
- (18)琉球使節(嘉永五年) 豊字禁止、琉使上国期限達書、渡唐金の事、冊封使乗船